

インマヌエル中目黒キリスト教会

2011年7月24日

聖日礼拝

ネヘミヤ記連講12
「大工事に集中」

ネヘミヤ記6章1-14節
竿代 照夫 牧師



聖書朗読

旧約聖書

ネハミヤ記6章1-14節

1 さて、私が城壁を建て直し、
破れ口は残されていないという
ことが、サヌバラテ、トビヤ、
アラブ人ゲシエム、
その他の私たちの敵に聞こえる
と、
——その時まで、私はまだ、
門にとびらを取りつけて
いなかった——

2 サヌバラテとゲシエムは
私のところに使いをよこして
言った。

「さあ、オノの平地にある村の
一つで会見しよう。」

彼らは私に害を加えようと
たくらんでいたのである。

3 そこで、私は彼らのところに
使者たちをやって言った。
「私は大工事をしているから、
下って行けない。
私が工事をそのままにして、
あなたがたのところへ下って
行ったため、
工事が止まるようなことが
あってよいものだろうか。」

4 すると、彼らは同じようにして、
四度も私のところに
人をよこした。
それで私も同じように彼らに
答えた。

5 サヌバラテは五度目にも
同じようにして、
若い者を私のところによこした。
その手には一通の開封した手紙
を持っていた。

6 それには次のように書いてあった。

「諸国民の間に言いふらされ、
また、ゲシエムも言っているが、
あなたとユダヤ人たちは
反逆をたくらんでおり、
そのために、
あなたは城壁を建て直している。
このうわさによれば、
あなたは彼らの王になろうと
している。」

7 また、あなたはエルサレムで、
自分について宣言させるために、
預言者たちを任命して、
『ユダに王がいる』と言わせて
いる。
今にこのようなことが
王に聞こえるであろう。
さあ、来なさい。
いっしょに相談しよう。」

8 そこで、私は彼のところに
人をやって言わせた。
「あなたが言っているようなこと
はされていない。
あなたはそのことを
自分でかっけてに考え出したの
だ」と。

9 事実、これらのことはみな、
「あの者たちが気力を失って工事をやめ、中止するだろう」と考えて、私たちをおどすためであった。
ああ、今、
私を力づけてください。

10 私がメヘタブエルの子

デラヤの子シエマヤの家に行ったところ、
彼は引きこもっており、
そして言った。

「私たちは、神の宮、本堂の中で
会い、本堂の戸を閉じておこう。
彼らがあなただを殺しにやっ
て来るからだ。きっと夜分に
あなただを殺しにやっ
て来る。」

11 そこで、私は言った。
「私のような者が逃げて
よいものか。
私のような者で、
だれが本堂に入って
生きながらえようか。
私は入って行かない。」

12 私にはわかっている。

今、彼を遣わしたのは、
神ではない。

彼がこの預言を私に伝えたのは、
トビヤとサヌバラテが
彼を買収したからである。

13 彼が買収されたのは、私が恐れ、
言われるとおりにして、
私が罪を犯すようにするため
であり、彼らの悪口の種とし、
私をそしるためであった。

14 わが神よ。

トビヤヤサヌバラテの
あのしわざと、また、
私を恐れさせようとした
女預言者ノアデヤヤ、
その他の預言者たちのしわざを
忘れないでください。

説教

ネハミヤ記連講**12**

「大工事に集中」

ネハミヤ記**6**章**1-14**節

竿代 照夫 牧師

主テキスト：

「私は大工事をしているから、
下って行けない。
私が工事をそのままにして、
あなたがたのところへ下って
行ったため、
工事が止まるようなことが
あってよいものだろうか。」

(ネヘミヤ6：3)

A. 暗殺の企み（1－4節）

1. 工事は最終段階に（1節）：
城門を除くすべてが完成
2. ネヘミヤ暗殺計画（2節）：
オノ村への「招待」
（地図参照）
3. ネヘミヤの毅然たる返答
（3－4節）：
「大工事に集中している」

【ネヘミヤ時代のユダ③】

サマリアヤ

アモン

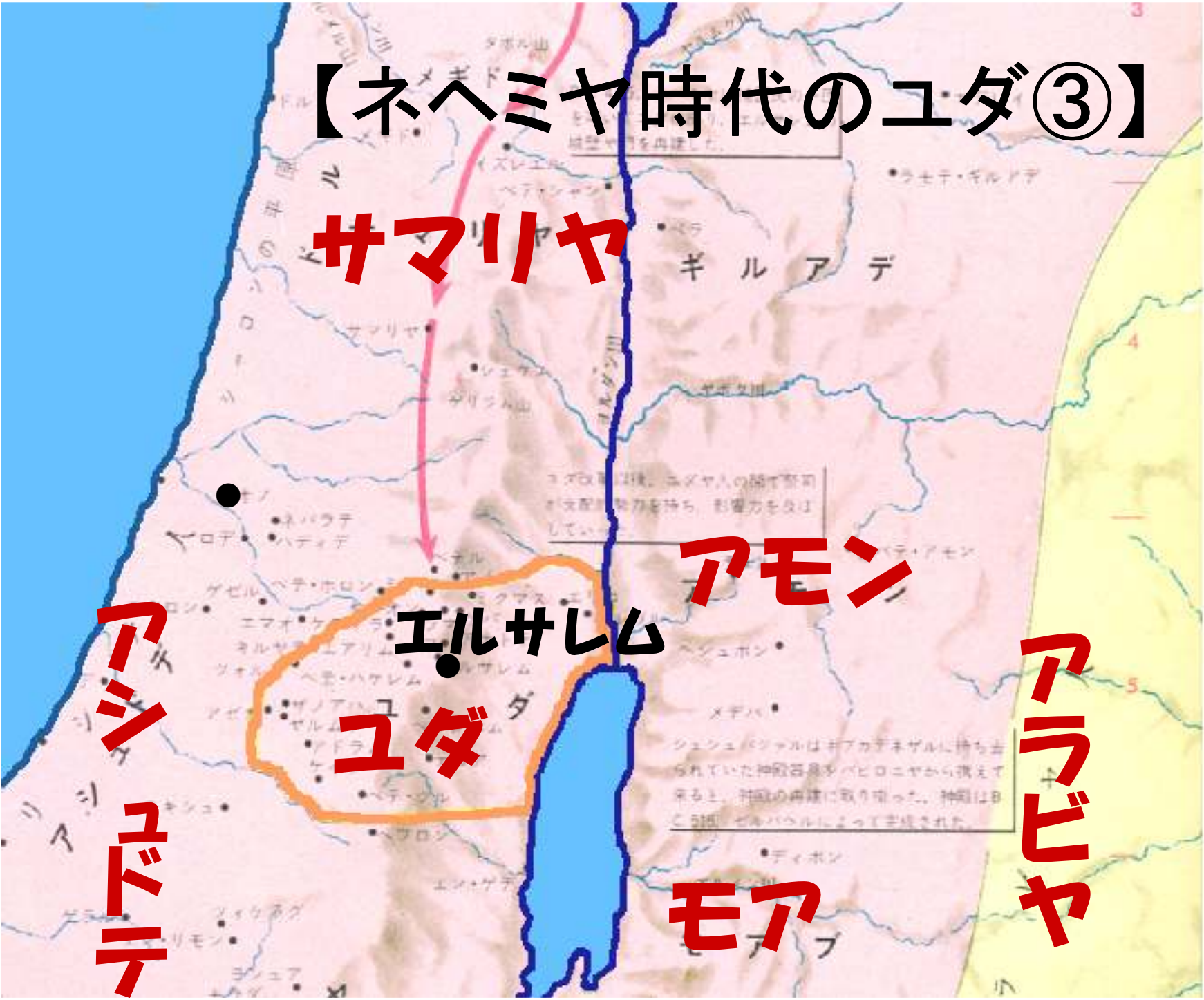
エルサレム

ユダ

フィリステヤ

モアブ

アラビヤ



B. 公けの誹謗（5－9節）

1. 開封した手紙（5節）
2. 中傷の内容（6－7節a）：
「ネヘミヤは自分を
王としている」
3. サヌバラテの示唆(7節b)：
談合への誘い
4. ネヘミヤの対応(8－9節)：
噂を全く無視

C. 「冒涇」への誘い
(10-14節)

1. 買収された祭司の勧め
(10節) :

「神殿に隠れなさい」

2. ネヘミヤの毅然たる対応
(11節) :

「お断りします」

3. ネヘミヤの洞察
(12-13節) :
買収工作を見抜く
4. ネヘミヤの祈り (14節) :
神の正義への訴え

終わりに：

私たちの「大工事」とは？